

つなぐ・つながる

このコーナーでは、環境活動をしている団体、施設及び他団体との連携を紹介します。

長野市立博物館

学芸員 陶山 徹

長野市立博物館は川中島古戦場がある、八幡原史跡公園の中にあります。春は桜がともきれいで多くの人が訪れます。博物館の展示室では長野盆地の歴史と生活をテーマに様々な資料を展示しています。博物館にはプラネタリウムもあり、土日祝日はきれいな星空をお楽しみいただけます。一つでも星座を探せるようになります。また、屋上には直径40cmの大きな天体望遠鏡があります。毎月一回この望遠鏡で様々な天体を見る観察会を行っています。土星のリングや木星の縞模様、月のクレーターなど肉眼では見ることのできないものを見ることができます。

博物館で見える夜空の星の数は、残念なことにプラネタリウムで見るよりも少ないです。理由は光害（ひかりがい）です。私たちが暮らして使う様々なあかり

が空を照らして星を見えにくくしてまいります。まぶしい光は信号機や道路標識を見えにくくし、農作物の育ち方に悪影響を及ぼす場合があります。このような光による害を光害とよんでいます。

長野市立博物館では、博物館友の会の天文同好会「しなの星空散歩会」なら「とながの環境パートナーシップ会議」光害対策チームと協力して、長野市内の光害（夜



空の明るさ)の調査を行っています。光害の調査は1993年から始まっていて、今年で21年目になります。夜空の明るさの様子は人々の生活や町の発展の様子とともに変わってきています。開発が進むことにより、あかりが増えて、光害が増えてしまうこともあります。しかし、現在では、光害の対策がされたあかりが設置されることが多くなっています。あかりの役割は目的とする場所を照らすことです。そのため、それ以外に漏れ出す光、例えば、空に向かつていく光は不要な光になります。光害対策がすすめば、エネルギー効率の良い照明が増え、不要な光が減ることによって、街中でも今よりたくさん星の星を見ることができるようになるでしょう。

光害対策チームの活動に興味のある方は市立博物館(284-9011)までご連絡をお願いします。

ながの環境パートナーシップ会議 活動記録 (平成26年1~4月)

P会議活動

- ・ながの環境団体大集合 2/23
- ・理事会4回 (1/9、2/4、3/20、4/22)
- ・信州大学工学部地域環境演習 4/21

チーム毎の活動

- ・光害対策 5回 (例会、シンポジウム参加)
- ・水環境保全 5回 (例会他)
- ・生ごみ減量・再利用 10回 (例会、打合せ、視察他)
- ・レジ袋使用削減 12回 (例会、毎月5日、ノーレジ袋デー、調査活動、マイバッグコンテスト、懇談会他)
- ・市民の森づくり 10回 (例会、かんじき体験、森整備作業、森林に学ぶネットワーク参加)
- ・太陽エネルギー普及促進 3回 (例会)
- ・子ども環境学習支援 6回 (例会他)
- ・スキー場跡地の自然復元 2回 (例会)
- ・GLOBE
- ・カーボンオフセット

《発行》

ながの環境パートナーシップ会議 市民、事業者、行政の協働(パートナーシップ)により環境保全に取り組んでいます。

《編集・事務局》

〒380-8512
長野市大字鶴賀緑町1613
長野市環境政策課内
TEL 026-224-5034
FAX 026-224-5108
E-mail:kankyo@city.nagano.lg.jp
URL http://nagano-ep.net/

会員募集中

パートナーシップ会議会員数 87名(内団体会員7団体)
《26年5月1日現在》
年会費 500円

お知らせ

ながの環境パートナーシップ会議総会
日時 6月15日(日)10時~12時
場所 長野市役所第2庁舎 10階講堂

数字で見る長野市の環境

長野市のCO₂排出量*2010年度

1世帯当たり 2.73t
世帯当たり平均人員2.6人(H22国勢調査から)
日本の世帯あたりの排出量は3.22t
自動車や廃棄物由来のCO₂が含まれていない。
*詳しくは長野市及び環境省ホームページを参照

マイバッグ持参率(平成26年3月)

長野市 48.2%
長野県 69.0%

